

平成30年度第2回広報委員会議事録

日 時 平成30年9月6日(木曜日) 14～17時

場 所 千葉代協 事務局

出席 【出席】 川名敏弘(安房)、本吉淳(木更津)、大森滋(茂原)、三宝康司(市原)、山田悦孝(千葉)、
山倉等(北総)、宮内知良(銚子)、須田孝憲(京葉)、柴田悟(東葛)

【オブザーバー】小口会長 【欠席】宮内和良 【代理】北田耕一(北総)

銚子支部の2回連続の欠席は非常に残念かつ深刻で理事会での協議をお願いしたい。

報告事項

日本代協広報委員会・機関紙編集委員会からの報告(時間がタイトなので割愛)

協議・議事

1、千葉代協だより編集会議

■山田副委員長を中心に編集作業

通し番号は、今号より廃止として発行月を入れる形にする。(2018年9月発行)

理由は、後で振り返った際に通番より発行月がはっきり入る方が明示される方が良いとの多数意見から。

山田副委員長のPCで3回にわたり修正をし最終版とする。いろいろな改良点はでもまずは、年度期中にしっかりと発行することが大事でありとの認識。

銚子支部からは原稿が未達であったため空欄とする。空欄とするのは残念であるが、委員会も欠席しさらに原稿も未達ということも鑑み致し方ないとの多数意見による。

2、配布方法に関して協議

■「千葉代協だより」がそもそも会員向けの紙メディアであることを前提に発行するので、今回も会員数分、カラー印刷をする。それを9月14日の三役支部長会にて、部数を各支部長に配布する。
また、PDFに加工して、会員向けにメール配信とホームページのインフォメーションに上げる。

3、その他(時間により)

■千葉日報にトータルプランナーの広告は担当を川名副委員長として、今年度は従来通りのやり方とするも千葉代協のレターを添えるので工夫を考える。また次回、広報委員会で千葉日报社担当者を交えた時間を設けて改革改善策も検討する。

■第2号に関しては、次回、広報委員会の後の懇親会の場を利用して議論を進める。

■ホームページに関して意見交換

もう少し見やすく、もう少しわかりやすくななど抽象的なことではなく具体的な議論をしていくことは大事。

何を載せたいとかメニューの項目を増やすとか、インフォメーションを部門別に分けられないかなどの具体的議論。

リニューアルまでいかない手前での改善点を具体的に、事務局でできるレベルで。その先にリニューアルがある。

今までの経緯の説明。項目メニュー数が多いのは見栄えが良いが更新は大変になる事務量が増えるといったバランス感覚が大事。

次回開催

2018年12月6日 14時から17時 事務局かあおば事務所、その後懇親会を予定。